

芸術の森青少年育成委員会だより

第1号
平成7年7月31日発行

芸術の森地区青少年育成委員長 安藤 晃

石山地区連合町内会が別れ、芸術の森地区連合町内会の発足に伴い、青少年育成委員会も2つに別れました。その会長という重責を引受けましたが、果たして今までのような行事が出来るかどうか。

石山地区では、20名の人数で春は野球、夏はキャンプ、秋は石山子供会18団体で交流会、冬には5日間のスキー学習など行って来ましたが、芸術の森地区では委員の数が半分以下の9名ですので今まで石山地区で行っていたような行事は困難と思います。

地域の皆様方には色々とご迷惑をおかけすると思いますが、この地区に見合った行事を見出し、青少年育成活動を進めてまいりますので、より一層青少年育成にご尽力をいただきますと共に、育成委員会の行事にご協力とご指導をお願い申し上げます。

芸術の森地区青少年育成委員の紹介

	氏名	住所	電話番号
会長	安藤 晃	滝野 22	591-3419
副会長	石中孝行	常盤2条2丁目14-10	591-7315
副会長	齊藤公博	石山東3丁目6-38	592-1048
代表幹事	高正治	石山東3丁目1-60	591-5441
文化部	宮入靖絵	真駒内332-325	592-2345
スポーツ部	金子侑	真駒内254-120	592-1719
レクリエーション部	前口順二	真駒内143-9	584-5645
非行化防止部	八島美枝子	石山東3丁目14-27	591-8667
啓発・学習部	遠藤好江	常盤3条2丁目1-12	591-2373

会報誌の名前を募集しています

親しみやすい愛称を親子で考えて下さい（採用者には豪華？賞品を用意しています）

次号から採用させていただきますのでよろしくお願い致します

啓発・学習部長 遠藤好江まで

— 素晴らしい連町づくりに協力を —

芸術の森地区社会福祉協議会会長 櫛引清和

4月1日歴史ある石山連合町内会より分離独立し新しい連合町内会が発足し、芸術の森地区社会福祉協議会も独立設立し地域福祉の重い責任を負うことになりました。

この地域におきましても、目の前に高齢が迫ってきております。

高齢者及び身障者又は母子など、あらゆる層の地域住民が住み慣れた地域で、安心して生活する事が出来る様に、地域の実情に応じて町内会会員の皆様、民生児童委員、青少年育成委員の皆様方のお力を借りし、小地域福祉を推進し福祉情報の提供及び相談、援助機能の強化、地域住民の日常生活にとって役に立つよう、福祉活動をより活発にし連携プレーをうまく行動に移し変えてこそ、本来の意味が実現していくものと思います。

この地域の連合町内会は素晴らしいと言われるよう、また皆様に認められるように努力する所存でございます。どうぞお互いに支え合う街づくりにご協力をお願い致します。

— 心豊に育つ —

石山東小学校長 山本洋義

この度、地域の方々の熱意により石山連合町内会より分離して芸術の森地区連合町内会が発足したことは、まことに喜ばしいことです。

この地域は、自然環境に恵まれた緑豊かな大変すばらしいところです。

子供たちが、このような恵まれた環境の中で、たくましく育つことを期待しています。今、教育は改革期を迎えています。知識、理解にいたよっていた教育から自ら学ぶ意欲を大切にする教育へと変わりつつあります。

めまぐるしく変わる社会の中で、子供たちが自ら学ぶ意欲を持ち、心豊に育ってほしいとねがっているところです。子供たちの健全育成のために、学校・家庭・地域が一体となって進めていくことが大切と考えます。

先日、この地域を会場にして少女ソフトボール大会が行われ、私も応援に参りましたが子供たちの健全育成のため、大変良いことだと思いました。

— 家庭での子ども —

常盤小学校長 松居 稔

芸術の森地区連合町内会の発足により、当地域の町内会活動が一層充実していくことと思われます。直接その任にあたられる方、それをバックアップする地域の皆様のご努力に敬意と感謝を申し上げます。子供の教育に携わっている私達ですが、学校教育と社会教育の連携について、日頃いろいろな機

会にご意見、ご指摘をいただいておりますことにも厚くお礼を申し上げます。

学校は本年4月から月2回の土曜日が休みになりました。それによって子供たちが家庭や地域で過ごす時間が多くなりました。

某紙の投書欄に1人のお母さんから、中1の長男と小4の長女が休みの土曜日に料理をつくって家族に御馳走したことと、その時母親は口も手も出さずぐっと我慢して見守ったということが載っていましたが、すばらしい家庭教育だと感じたしだいです。

挨拶は人間関係の潤滑油

駒岡小学校長 民野智

今春から長い歴史をもつ石山連合町内会から、芸術の森地区連合町内会が独立しましたことは誠に記念すべき事であります。また名前から受けるイメージもすこぶるセンスがよく、地域に住む人々が誇りに思われるのではないでしょか。

さて偉そうなテーマを書いたのは、私達人間の基本的生活習慣の大切な要素のひとつである挨拶について考えてみたいと思ったからです。私達学校では、教育の一環として挨拶を重要視しています。この頃学校以外でも挨拶がよく出来ない人間の多いのに驚きを感じます。これは皆様が住んでいる地域でも同じことが言えませんか。「あの若い娘がツンとして挨拶もしないで」よく耳にいたします。

挨拶はいくらしても人に迷惑をかけませんし、逆にその人柄の良さを評価されるバロメーターになると思うのです。よい家庭、よい職場、よい町内会の潤滑油は、日頃自然に口から出る心のこもった挨拶ではないでしょうか。

育みを三者の連携で

常盤中学校長 谷津敏

子供たちの、健やかな成長と幸福を願って、「芸術の森地区の皆さん、並びに青少年育成委員」の方々には、地区の子供たちのために何かとお骨折り頂き、心よりお礼申し上げます。

親が子の、あるいは、周りの人達が目の届く範囲の子供たちに温かい思いやりの心の広がりをつくることが大切ですが、現実には、子供を取り巻く環境は厳しく、不幸な子供たちも沢山あります。

「小さいときに、自分の欲望を抑えることを教わらなかった人間は不幸である。」これは、哲学者カントの言葉ですが、子供を「育む場には、家庭・学校・地域社会」等がありますが、基礎になるのは家庭の育みです。三者の連携を大切にして、21世紀を担う子供たちのために、それぞれの役割や責任を明確にし、相互の連携を図ることが一層大切になります。

学校としても、子供のもって生まれた個性を伸ばして立派に育てることを課題として努力いたします。今後とも、一層のご理解とご協力を願い申し上げます。

各部長の抱負と挨拶

—— レクリエーション部長 前口順二 ——

石山連合町内会からの分離に伴って、青少年育成委員会も芸術の森地区青少年育成委員会として、会長をはじめ9名の委員によって独立することになりました。全員が各部の責任者となり、委員2年目の私はレクリエーション部長を引き受けました。

今年からは、芸術の森地区青少年育成委員会として、独自に行事を計画しますので地域の皆様方のご協力をお願い致します。

—— スポーツ部長 金子侑 ——

皆さんご存知のように青少年育成委員の役割は、青少年の健全育成を図ることであり、スポーツ部としては今年度はドッヂボール大会を予定しております。

子供の教育は、学校における学問等の習得、家庭における躾けの習得と並んで、子供たちは地域が育てるという認識にたって、地域住民が子供の教育に係わっていくことが大変重要なことだと思います。

自然環境に恵まれた当地域の特性を生かし、子供たちが素直で明るく、自然を大切にする、元気な子供から青年へと成長するように、地域の大人たちで指導し、また見守って行きたいと思います。

そしてまた、親子の絆を深めるためにも、育成委員会主催の各種行事に親子で参加してみませんか。

—— 文化部長 宮入靖絃 ——

育成委員会の事業のひとつに文化部というのがあります。

活動としては子供会への助成金、子供会のリーダー研修会や交流会が主な事業です。

また、子供会のない地区に子供会を造るお手伝い等をする部です。

—— 非行化防止部長 八島美枝子 ——

育成委員を受けて10年目、石山と芸術の森とに分かれ人数も少なく全員何かの役につく事になりました。

非行化防止部長を受けましたが何から始めてよいのか全然分かりません、何かひとつでも「やった」と言えるように頑張りたいと思います。

年間行事計画

啓発・学習部：会報誌発行（7月・3月）

文化部：子供クリスマス会（12月）

スポーツ部：ドッヂボール（10月）

非行化防止部：非行化防止巡回（8・9月）

レクリエーション部：キックベースボール（9月）

編集後記

予算の関係もあり手作り会報誌にしようと話しが決まりました。慣れない作業に大変苦労しました。努力を察して最後まで読んでいただければ幸せです。
原稿を快く書いて下さいました皆様ありがとうございました。

啓発・学習部長 遠藤好江